

第62回 日本学連総会 議事録

開催日時：2015年(平成27年)3月9日(月) 9時16分～10時43分
開催会場：ホテル明山荘 コンベンションホール『鳳凰(D)』(愛知県蒲郡市)

【議題】

1. 議長選出
2. Bエリート廃止について
3. 会計について
4. インカレスプリントガイドライン、インカレ実施規則について
5. 大学院生の加盟登録について
6. 来年度幹事について
7. 技術委員会報告
8. 各部局活動報告
9. 各地区学連活動報告
10. 次回総会について(その他報告)

【出席者】(敬称略)

氏名	役職	学校名
山川克則	副会長	東京大学卒
宇井賢	幹事長	京都大学
佐藤大樹	副幹事長	東京工業大学
平野大輔	事業部長	名古屋大学
高橋秀明	広報部長	金沢大学
新粥文哉	事務局長	千葉大学
杉村俊輔	普及部長	東北大学
大久保宗典	会計	東京大学
野本圭介	会計監査	筑波大学
五味あずさ	会計監査・来年度幹事長	金沢大学
細正隆	来年度普及部長	東北大学
築地孝和	来年度事業部長	神戸大学
田中基成	来年度会計監査(現 筑波大渉外)	筑波大学
田口茂樹	来年度会計監査	岩手大学
大川拓哉	北東学連幹事長	東北大学
久須美裕	北信越学連幹事長	新潟大学
村瀬貴紀	関東学連幹事長・来年度副幹事長	筑波大学
今井祐太	東海学連幹事長	名古屋大学
糸井川壮大	関西学連幹事長	京都大学
田中求	来年度北信越学連幹事長	金沢大学
小泉知貴	来年度関東学連幹事長	慶應義塾大学
石山良太	来年度東海学連幹事長	名古屋大学
松浦知佑	来年度関西学連幹事長	大阪大学

【出席校】(26)

岩手、東北、北海道、金沢、新潟、お茶の水女子、茨城、慶應義塾、相模女子※、実践女子、千葉、筑波、東京、東京工業、日本女子、一橋、横浜市立、横浜国立、早稲田、静岡、椋山女学園、名古屋、大阪、京都、京都女子、奈良女子

【委任状】(5)

岩手県立、福島、宮城学院女子、十文字学園女子、東京農工

【欠席】(1)

津田塾

※相模女子は途中退席したため、議題4以降の出席校は25校である。

議事録作成：高橋 秀明(広報部長・金沢大)

第62回 日本学連総会 議事録

発言者(敬称略)		発言内容など
氏名	所属・役職	
		総会開始:9時16分
		1.議長選出 今回の総会の議長に、小野真嗣(京都大)を全会一致で選出した。
		2.Bエリート廃止について
		「インカレミドル選手権B」の廃止の是非や、廃止した場合のインカレミドル開催の在り方について議論し、決定した。その結果、「インカレミドル選手権B」を廃止し、選手権の部の出走者数を男子60・女子30とすることが決定された。また、一般の部については、従来から存在する、Aクラス(上級者クラス)とBクラス(中級者クラス)というレベル分けをはっきりさせることが、幹事会より示された。
宇井	幹事長	Bエリートの廃止の是非については、第3回幹事会(1月)開催後、加盟校の意見を集約したところ、「Bエリートを廃止し、ミドル選手権の部の出走者数は男子60女子30とする」とした幹事会案に賛成している大学が多い。インカレ直前に開催された第4回幹事会では、この結果を基に、反対意見も含めて再度議論した。そして、今までの幹事会の方針に変わりがないことが確認された。なお、反対意見に関する議論の詳細は、後日公開される議事録を参考にしてほしい。 ただ、これまでの方針から見直した点がある。一般の部のAクラスやBクラスについてだが、これを見直し、一般クラスの中でのレベル分けをはっきりさせ、競争を促していくことが新たに示された。今回のインカレミドル一般の部の参加者の中には、「Aクラスが簡単だ」と思う人がいると思うが、クラスのすみわけを行うことで、Aクラスの難易度を上げられるという利点がある。 今日はBエリート廃止の是非についての決議を行い、もし廃止が可決された場合はエリートの人数についても議論したい。
佐藤	副幹事長	決議に移る前に、何か意見のある大学はないだろうか。 幹事会の提案について、わからない点については、質問してほしい。MUBの存在価値が薄らいでいるので、一般クラス内での競争を促したい。
栗本	東京	幹事会の方針はわかったが、具体的に何をを行うのかよくわからない。どのようにして、Bクラスを増やすのか。
宇井	幹事長	具体的な基準はまだ決まっていない。セレクションでの成績などである程度の目安を示してガイドラインを作成し、それを実行委員会に伝え、各加盟員に周知したい。ただ、一般クラスの基準なので、柔軟性を持たせたい。 今でも、MUAは上級者クラス、MUBは中級者クラスとなっているが、意識として、大体の人がMUAに参加者が集中する傾向がある。最近のインカレではあいまいになっている。ガイドラインといった何かしらの文章を作ったうえで、もう一度すみわけをしていきたい。具体的な目安についてはまだ決まっていない。 →賛成多数(賛成21)により廃止が可決された。
宇井	幹事長	次に選手権の部の出走者数について考えたい。意見を集約した結果、幹事会案に賛成している大学が多く、この場合、男子60人・女子30人となる。
鈴木	お茶の水	出走者数の男女比は、昨年度のインカレミドルの男女比を基に考えたということだが、なぜ加盟員の男女比ではなく、インカレ参加者数の男女比を基に決めたのだろうか。
宇井	幹事長	加盟登録している人でもインカレに参加しなかったり、オリエンテーリングをほとんどしていない人がいる。競技としてある程度オリエンテーリングをしている人が参加するであろう、インカレの参加者数で決めた方が、公平であると考えたからである。 →賛成多数(賛成23)により、幹事会案が承認された。
		3.会計について
		大久保より、日本学連会計の今年度中間報告と来年度予算案が示された。このうち来年度予算案については、全会一致で承認され、成立した。 また、山川より、今年度地図会計の最終報告があり、あわせて、日本学連所有の地図についての現状についても報告された。特に、「矢板塩田」については、経年変化の調査がされないままとなっていたため、2016年度インカレロングの開催地とすることとして、クローズされたことが示された。
大久保	会計	【2014年度日本学連会計第2回中間報告】 まず、収入項目としては、注意してほしいのは、加盟費である。1人2000円徴収しているが、ここでは、2000の倍数になっていない。これは、追加登録費が加算されているためである。 一方、支出項目については、技術委員会関係の3項目が0となっている。これについては、大西・技術委員会委員長がこれから請求を行うとのことである。 また、幹事会関係では、交通費・宿泊費の支出が予算に比べてとても多くなっている。この要因として、今年度は例年より1回多く幹事会を開催したこと、第2回幹事会が、7人リレー開催後であったため、近隣のリゾート地での開催となったこと、さらには第3回・第4回幹事会で来年度幹事を呼ぶことが慣例となったため、幹事会に出席する人数が増えたことが挙げられる。 あと、JOA加盟金については、入会金50万円は今年度のみ支出であり、来年度以降は不要である。また、昨年度YMOE社に關係する精算について、収入と支出に分割して記入している。それらを合計すると、44万8400円をYMOE社に支払ったことになる。

大久保	会計	<p>【2015年度日本学連会計予算案】</p> <p>まず、収入項目についてみていく。加盟員数については今年度並みを想定している。インカレ黒字の返金は昨年度は多かったが、来年度もある程度多いと見込んでいる。賛助金については今年度、10万円に届かなかったため、予算では10万円まで下げている。それ以外は昨年度の実績をもとに計上している。</p> <p>一方、支出については、幹事会関係の経費について、今年度予算を大きくオーバーしたことを踏まえ、交通費を10万円、宿泊費を15万円、それぞれ増やしている。</p> <p>なお、技術委員会のユニバー関係については、2年で30万円支出することになっているので、単年で15万円計上している。活動報告書については、1年で25万円積み立て、2年間で50万円が発行している。あと、事務局家賃については、家賃12か月分に更新費用が1か月がかかるため、合計で13か月分となっている。</p>
山川	副会長	<p>ホテル ファミテック(栃木県日光市)からの寄付金については、中間決算では、どの項目に分類されているのだろうか。</p>
大久保	会計	<p>私が通帳を記帳したのは3月5日だったが、その段階では、入金はまだ確認していないため、ここには記載されていない。ただ、その寄付金はその他の収入に分類されることになるだろう。</p>
山川	副会長	<p>決算の時にはきちんと報告をしてほしい。毎年いただいているので、それをきちんと周知してほしい。ホテル ファミテックからは、毎年、宿泊した述べ人数分×100円を寄付していただいている。</p> <p>→2015年度予算案については、全会一致(賛成25)で承認され、成立した。</p>
山川	副会長	<p>【2014年度日本学連販売地図売上最終報告】</p> <p>日本学連の地図財産はYMOE社が管理しており、来年度中に成立すると見込まれる規約では、幹事会・総会への報告義務がある。</p> <p>栃木県においては、学連としての地図作製や渉外活動を行い、インカレ開催といった長期的な計画を戦略的に立てている。地図会計については、ここ数年で持ち直している。2012年度は約8500枚、2013年度は約1万2000枚であった。今年度は春インカレが愛知であったために、合宿の需要がそちらへ流れた。しかし、インカレの会場にならないような場所の地図をつくり、練習会が開催できるテレインを増やしている。</p> <p>さらに、中堅校の大会開催を促す事業がすでに立ち上がっているが、昨年度は2つの大会(早大OC大会、千葉大・東工大大会)が、今年度は筑波大学大会がそれぞれ開催された。筑波大学大会については、完全なニューマップであった。斜面が緩いので、来年度春インカレの最適地となる。現在、新しい地図を作って、学連の地図を増やし、学連の予算を有効活用していこう、としているが、投じた資金よりも、地図販売の売り上げの方が上回っている。来年度については矢板でのインカレ開催となるので、1万枚程度の売り上げになると見込まれる。</p> <p>連絡事項として、希望が丘については、2011年度に春インカレが開催され、日本学連の予算を使って難しい地形を調査した。この度、開催終了後3年間とされた貸与期間が終了するため、4月からは、滋賀県協会の管理となる。</p> <p>また、日光矢板のテレインについては、セレクションの度に予算を付けて調査してきた。今年度はインターハイ個人戦・団体戦、ミドルセレが開催された。このうち「日光和泉」については、大規模な林道造成を反映させた。一方、矢板については、適当な試合が開催されないと改定ができなかった。特に「矢板塩田」については、矢板地区で一番面積が広く、合宿などで使いやすい定番のテレインであったが、古くなってきている。会場の設定がしづらく、ロングでしか試合をすることができないという制約のため、予算を付けても調査がされないことが多かった。この現状を踏まえ、2016年度のインカレロングの開催地とすることを予定して、クローズした。現在、地元とはホットラインで結ばれていて、長期的な関係が築いている。栃木県のテレインの渉外に関しては、渉外部が担当しているが、日本学連の財産として、インカレの長期計画を立てていこうとしている。</p> <p>なお、日本学連ホームページ上では、テレインの利用案内を行っているが、もっとわかりやすいものに更新したい。後程、話題にのぼる。(「6.来年度幹事について」を参照のこと)</p>
		<p>4.インカレスプリントガイドライン、インカレ実施規則について</p>
		<p>宇井より、「インカレスプリント実施ガイドライン」案・「日本学生オリエンテーリング選手権大会スプリント競技部門 競技者数及びその配分に関する規則」案・「日本学生オリエンテーリング選手権実施規則」改正案について、特筆すべき点や変更点について説明された。これらの案については、全会一致で承認され、成立した。</p>
宇井	幹事長	<p>【インカレスプリントガイドライン】</p> <p>基本的には、1月の幹事会前に示した案と変わっていない。変更点は赤字で示されているので確認してほしい。</p> <p>まず、5.予算について、「地図調査にかかる費用は上限25万円とし、特別な事情によりそれ以上の費用がかかる場合は、スプリント担当理事が日本学連幹事会において理由を説明すること」としまた、10.イベントアドバイザーについては、これまでは、兼任は不可としていたが、兼任をした方が都合がよい場合があり得るので、「インカレロングとの兼任をしないことが望ましい」とした。</p> <p>あと、11.実行委員会の提案については、インカレ前の幹事会で話し合ったところ、日本学生オリエンテーリング選手権実施規則第30条にある、「インカレ実行委員会は、当該インカレの1年前までに理事会の承認のもとで組織される」といった内容を書くことになった。時間がなく内容を差し替えることができず、申し訳ない。</p> <p>→「インカレスプリント実施ガイドライン」案については、全会一致(賛成25)で承認された。</p>
宇井	幹事長	<p>【インカレスプリント競技者配分】</p> <p>以前出したものと変わっていない。質問はないだろうか。</p> <p>→「日本学生オリエンテーリング選手権大会スプリント競技部門 競技者数及びその配分に関する規則」案については、全会一致(賛成25)で承認された。</p>

宇井	幹事長	<p>【インカレ実施規則】</p> <p>基本的には、インカレプリントの開催に伴って、変更されている点が多い。それ以外に加えた文言もある。</p> <p>8.2については、今までシード選手の選出数に上限があった。ロングでは男子10女子7、ミドルでは、男子8女子5であった。そこにスプリントを加えた。また、ロングやミドルの選出数はおおよそ1/6程度であったため、「シード選手の選出数は競技者の1/6程度までの人数とする」とこととした。</p> <p>また「21.3 コントロール位置説明表は、スタート枠にて配布される。また、事前に配布される位置説明表の大きさを公表するのが望ましい。」という文言を新たに加えた。</p> <p>また、パンチングシステムについてだが、「24.1 使用するパンチングシステムは、主管者の判断にゆだねられる。」、「24.4 コントロール通過証明がされていない、あるいは判別できない場合、(ユニットの不調など競技者の過失でなくても)この競技者は失格となる。但し、バックアップにより通過が証明された場合は、失格とならない。」とした。さらに、これに追加して、EカードやSIなどのパンチングシステムを用いる場合は、バックアップ計時システムを必ず使用することを24.5として加えたい。Eカードならばバックアップラベル、SIならば、ピンパンチがこれにあたる。ここには書かれていないが、バックアップ計時システムを必ず使用することを明記したい。</p> <p>これは電子的なパンチだけでなく(バックアップラベルやピンパンチなど)別の方法でもタイムを測ることを必須とする規定である。</p>
山川	副会長	<p>今まで慣習として行われてきたが、「規則に入っていないので、バックアップ計時システムはなくても構わない」とされると、競技者として納得できない、と考えたため、明文化した。</p> <p>実際に、2011年度のインカレロングでは、バックアップ計時を利用した選手が優勝している。</p>
宇井	幹事長	<p>あと、「29.6 棄権した競技者は、フィニッシュを必ず通過しなければならない。また、この者は、決して競技に影響を及ぼしてはならない。」という条文は、内容自体は変わっていないが、表現を変更した。もともと「競技者を助けてはいけない」となってはいたのだが、競技的なものなのか、人命救助に関するものなのか、あいまいだったため、競技的に助けてはいけないものと変更した。</p> <p>→「日本学生オリエンテーリング選手権実施規則」改正案については、全会一致(賛成25)で承認された。</p>
山川	副会長	
宇井	幹事長	
		<p>5.大学院生の加盟登録について</p> <p>佐藤より、幹事会での議論や各加盟校からのアンケート結果の報告があり、これを基に、加盟登録の対象者について、最終的な結論を決定した。その結果、専攻科学生については、日本学連への加盟登録を認めることとする一方、聴講生・研究生・留学生・大学院生についてはこれまで通り、加盟を認めないこととなった。</p>
佐藤	副幹事長	<p>(インカレ直前に)まずは大学院生の加盟を認めるか否かについて話してほしい、というメーリスを流した。その内容は以前この議題についてメーリスを流して意見を集めたところ、「加盟登録4年以内であれば加盟を認める」という反応が最も多かったこと、また主な焦点としてまず挙げられるのは、「大学院生が選手権に出るかどうか」ではなく、「大学院生の加盟をそもそも認めるかどうか」だったことを踏まえて、『これらについて各大学内で話し合ってきてほしい』というものであった。</p> <p>今どのくらいの大学が、大学院生の加盟自体は認めるべきだと考えているだろうか。</p> <p>→認めるべき:8、加盟登録4年以内であっても認めるべきでない:17</p>
佐藤	副幹事長	<p>この場で何か言うておきたいことはないだろうか。「大学院生の加盟は、加盟登録4年以内であっても認めるべきでない」という意見が過半数を超えているので、このままだと「大学院生の加盟登録は認められない」として、議論が進む。反対意見などがあれば出してほしい。</p> <p>→特に意見は出されず、大学院生の加盟は加盟4年以内であっても認めないこととなった。</p>
佐藤	副幹事長	<p>前回のメーリスでまとめて反応をいただいているので、まとめる。</p> <p>専攻科学生については加盟を認めることとしたい。ここでいう専攻科とは、高専の卒業生などが進むところであり、大学3・4年生相当にあたる。これについては、加盟に反対する意見はなかった。</p> <p>→専攻科学生については、加盟登録を認めることが全会一致(賛成25)で承認された。</p>
佐藤	副幹事長	<p>聴講生・研究生・留学生については加盟を認めないという意見が多数であった。これについても承認を取りたい。</p> <p>→聴講生・研究生・留学生については、加盟登録を認めないことが賛成多数(賛成23)で承認された。</p>
佐藤	副幹事長	<p>まとめたい。今後、専攻科学生については、日本学連への加盟登録を認めることとする。一方、聴講生・研究生・留学生・大学院生についてはこれまで通り、加盟を認めないこととする。</p>
		<p>6.来年度幹事について</p> <p>2015年度日本学連幹事候補者は以下の通り。(所属・現在の学年)(敬称略)</p> <p>幹事長→五味 あずさ(金沢大3・現 会計監査)</p> <p>副幹事長→村瀬 貴紀(筑波大3・現 関東学連幹事長)</p> <p>会計→大久保 宗典(東京大3・留任)</p> <p>事業部長→築地 孝和(神戸大2)</p> <p>広報部長→田中 悠(慶応義塾大2)</p> <p>事務局長→新粥 文哉(千葉大3・留任)</p> <p>普及部長→細 正隆(東北大2)</p> <p>渉外部長→橋場 良太(東北大3・留任)</p> <p>会計監査→田中 基成(筑波大2・現 筑波大渉外)、田口 茂樹(岩手大2)</p>

高橋	広報	→広報部長・渉外部長を除き、全会一致で承認された(賛成25校)。なお、広報部長・渉外部長については、総会を欠席・委任したため、次回総会で承認を求めることとなった。
大久保	会計	現在、日本学連のホームページの更新が現状に追いついていないため、かつて存在した「ウェブサイト管理責任者」のような、ホームページの改修を行う担当者を来年度1年間だけ復活させてほしい。その役職は、広報部局員とし、私が務めることとしたい。なお、広報部局員の設置については、幹事会の承認が必要である。
山川	副会長	この役職の幹事会交通費などはどういう扱いになるだろうか。
宇井	幹事長	幹事と同格に扱うことを総会で決議したらどうだろうか。ホームページの更新については、予算をかけて扱わなければならない項目である。 それでは、この件について、交通費などの経費が発生した場合、広報部局員ではあるが幹事と同じ扱いとしたいが、何か意見のある大学はないだろうか。 →特に異論は出されず、全会一致(賛成25)で承認された。
宇井	幹事長	7.技術委員会報告
		宇井より、大西からの技術委員会報告が代読された。シード選手選出、第3回学連合宿、学連合宿会計報告、ユニバー会計報告、規約改正案の提出について、それぞれ報告があった。 大西・技術委員長より、コメントを預かっている。 1、シード選手の選出 インカレミドルのシード選手(男子8名、女子4名)を推薦して理事会により決定。 2、第3回学連合宿 山リハに合わせて例年通り日光所野において学連合宿を開催。80名が参加。 3、会計報告 学連合宿の会計報告を行った。 4、ユニバー会計報告 ユニバー遠征活動に対する30万円の用途について報告。 5、規約改正案の提出 インカレ実施規則の改正案を幹事会に提出。
		8.各部局活動報告
		●会計:今年度中間報告・来年度予算案作成、あわら市からの今年度インカレ助成金受け取り ●事業部:第3回・臨時・第4回幹事会会場・宿泊場所の手配、日本学連総会会場の手配、後夜祭・講習会開催 ●広報部:幹事会・総会議事録作成、いぶき作成、日本学連渉外メーリス登録、ホームページ・Twitter更新 ●事務局:後援申請受付、追加加盟登録受付、JOA競技者登録の学連内での取りまとめ、春インカレへの渉外協力、実行委員会への加盟員名簿の受け渡し ●普及部:賛助会員募集と名簿作成・管理、インカレミドル・リレー観戦ガイド作成 ●渉外部:矢板・日光での各練習会についての回覧書郵送(2月・3月分) 【事務局】 来年度から、JOA競技者登録などの業務はJOA事務局から日本学連事務局へ完全に移行される。JOA競技者登録の質問などは、今後は日本学連事務局にしてほしい。
村瀬	関東	9.各地区学連活動報告
		●北東学連:ミドルセレ(12月21日・関東学連と合同)、学連総会・引き継ぎ(3月6日) ●関東学連:ミドルセレ(12月21日・北東学連と合同) ●北信越学連:新潟大学大会(10月25日)、ミドルセレ(12月28日・東海学連合同)、学連総会(総会終了後) ●東海学連:東海学連冬合宿(12月27日～29日)、ミドルセレ(12月28日・北信越学連合同)、学連広報紙発行(3月)、来年度東海インカレ兼ロングセレ実行委員会立ち上げ ●関西学連:第2回定例戦・新人戦・学連総会(10月26日)、ミドルセレ(11月30日)、学連練習会(2月13日)、学連総会(2月15日・ウエスタンカップ・リレー終了後)、ロングセレ規約改正 【関東学連】 関東学連では加盟員が増加したため、ミドルセレの際、1レーン制ではスタート時間が長くなるため、2レーン制を採用した。詳しいことは、実行委員会からの報告書が関東学連ホームページに掲載されているので、そちらを確認してほしい。形式としては、同時スタートの人が違うコースになるように、2つのコースを提供した。 実際のミドルセレでは、推薦枠でのトラブルがあった。実際は2つのコースでタイムの速い人が推薦が出なかった時の繰り上がり順位が高いが、実行委員会と関東学連では、「各レーンにおける上位から繰り上がる」とものと誤解していた。これについては、繰り上がり順位を発表した際に指摘があり修正した。 実行委員会からの報告書の提出を受けて、関東学連としては、ミドルセレとロングセレの規約の改正になるが、「複数レーンにした時のコース設定に求める条件について明記するか」、「レーン制の分け方に関する参考大会の選び方」、「推薦方法」、また、現在ロングセレではバタフライしか認められていないため、「ロングセレにおける複数レーン制の導入」について議論していく方針である。これらについては早急に決めたいが、今回の総会では規約案を提出することができず、来年度のロングセレには間に合わない。可能であれば、次回総会で承認を得たいと考えている。

今井	東海	<p>あと、インカレスプリントのセレクションについては、社会人クラブに運営をお願いする。</p> <p>【東海学連】 来年度のインカレスプリントのセレクションについては、競技規則などがまだ成立していないため、実行委員会を設置し、そちらに運営をしてもらうこととなった。</p> <p>【関西学連】 関西学連ロングセレ規約改正案を総会に提出したい。総会の承認が必要なため、ここで提出した。なお、先ほどインカレミドルBエリート of 廃止が決まったが、今年度までは存続しているので、来年度のロングセレについては、この改正案の条文の通りにセレクションを行いたい。今後の方針として、インカレミドルBエリート of 廃止が決まったので、前回総会で提出した関西学連ミドルセレの改正案とあわせて、それに伴う修正を加えて、改めて総会へ提出するようにしたい。 →全会一致(賛成25)で承認された。</p>
宇井	幹事長	<p>10.次回総会について(その他報告)</p> <p>【第63回総会】 ●開催日:10月(インカレスプリント終了後) ●開催地:未定(インカレスプリント会場付近)</p> <p>【その他報告】 日本学連にスキーオリエンテーリング委員会を設置した。木村理事が委員長を務める。</p>
		<p>総会終了:10時43分</p>